

根室半島で採集された異翅亜目

芳賀 馨^{※1}・山本 亜生^{※2}

Records of heteropteran species collected from the Nemuro Peninsula, Eastern Hokkaido, Japan
(Hemiptera, Heteroptera)

Kaoru HAGA^{※1} and Aki YAMAMOTO^{※2}

Abstract. Seventy seven heteropteran species belonging to 18 families collected by the first author in the Nemuro Peninsula are recorded. Sixty one species of them are newly recorded. As the result of literature survey, it was made clear that 101 heteropteran species belonging to 24 families have hitherto been known from the Nemuro Peninsula.

はじめに

根室半島は北海道本島の東端に位置し、千島列島からの寒流や夏季の海霧のため、日本の低地としては最も寒冷な地域の一つである。このため、湿原を交えたアカエゾマツ純林等の寒冷地特有の植生が成立している。昆虫についても、高山蝶の1種であるカラフトリシジミ *Vacciniina optilete daisetsuzana* (Matsumura)が息をするのを始め、多くの寒地性の希少種が採集されている。釧路昆虫同好会は、このような根室半島の特異な昆虫相に注目し、1996年度から3年計画で根室半島全域(根室市全行政地域)において昆虫類全般を対象とする分布調査及び生態調査を実施するとともに、北海道大学昆虫体系学教室の協力を得て徹底した文献記録の調査を行い、その成果を会誌"SYLVICOLA"の"別冊III. 根室半島の昆虫"(中谷・生方編, 1999)と題する大冊の報告書(以下「根室半島の昆虫」と略す)として公表した。この報告書は根室半島から13目198科1,967種の昆虫を記録するとともに多くの分析・考察を加えており、同好会が発行するものとしては稀にみる質の高い出版物となっている。しかし会員の興味対象分類群の偏りから、記録種の内訳は鱗翅目と鞘翅目で1,582種を占め、それら以外の目の調査は十分とはいえないものであった。半翅目については、会員外から林正美博士を執筆者に迎える幸運に恵まれたものの、林博士自身は現地調査に参加できなかったため記録種数は多くなく、顎吻亜目が8科50種、異翅亜目が17科39種である。後年中谷(2025)によって異翅亜目2種の追加がなされたが、現在においても根室半島の半翅目相の解明度は低いと言わざるを得ない。

筆者の一人芳賀は、2012年、2013年、2021年～2023

年に根室半島を訪れ、合計延べ28日にわたり昆虫を採集した。主たる採集対象は鞘翅目であったが、副産物として異翅亜目に属する種をも採集した。山本は、芳賀が採集した標本を同定した。その結果、芳賀の採集品には根室半島から未記録であったと思われる種が少なからず含まれていることがわかった。上記のように、調査地は興味深い昆虫相を有する一方で従来異翅亜目相の調査が不十分な場所であるので、ここに記録しておきたい。

調査地の環境

1. 地形

根室半島は、北海道根室総合振興局の南東端部に位置し、日本本土の東端部でもある。本報告では「根室半島の昆虫」に習ってその領域(調査対象区域)を根室市の市域とする。市域は東西約50.1km・南北約26.8km、面積は407.81km²である(歯舞群島と風蓮湖の水面を除く)。地勢は根室湾と太平洋の間に東西に延びる半島で、山と呼べる高所はなく、全体が低い台地状の地形をなす。台地面は全体的に北に傾斜しているため根室湾側の斜面は緩勾配で、比較的長い河川があり、河口付近には広い湿地が形成される。太平洋側の斜面は急勾配で、海岸線に直交する短い河川が並び、部分的には崖地となっている。

2. 気象

根室半島の気象の最大の特徴は夏季の曇天と低温である。気象庁の「根室」観測点と、同様に低地に位置する主要都市である「網走」、「北見枝幸」、「帯広」、「札幌」の観測点における気温、日照時間、降水量のデータを比較すると、表1ようになる。根室は年平均気温では最寒ではないが、6-8月の夏季に着目すると、平均気温と

※1 〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町 1-16-1-804

※2 小樽市総合博物館 〒047-0041 北海道小樽市手宮 1-3-6

まった自然林が残されている地域は、温根沼を含むオンネベツ川の流域、川口から別当賀にかけての別当賀川下流域等に限られている。

湿地、自然草地等の非森林自然植生は、全域にわたって斑点状に多数残存している。湿地は、台地面の微低地ではツルコケモモ・ミズゴケクラスまたはヌマガヤオーダーが多く、河道・河口ではヨシクラスまたは塩沼地植生が多い。太平洋岸の友知湾や三里浜等では段丘斜面の下に砂浜が形成され、砂丘植生が成立する。断崖の海岸は台地面の草が直接露岩地に移行している区間が多く、海岸段丘植生はほとんど見られない。代表的な植生環境を写真4・写真12に示す。

調査の行程と方法

1. 行程

(1) 2012年7月21-22日

厚床駅南側と落石駅から1km程度の範囲内の台地上および浜松海岸南部の砂浜を調査した。天候は、21日が曇りで、22日はこの地域の夏季としては珍しく薄曇りの晴天で日射があった。

(2) 2013年7月25-29日

ノッカマップ岬、昆布盛駅～落石駅、別当賀駅～五本松川河口左岸、温根沼大橋左岸～落石駅、浜松海岸を調査した。この年7月下旬の北海道の天候は極度に悪かったが、根室半島は雨域からはずれていた。毎日が曇り時々霧雨程度の天候で、27日と28日の正午前後には薄日が射した。

(3) 2021年7月1-6日

オンネ沼周辺、別当賀駅～天狗岩・五本松川河口左岸、温根元～納沙布岬、三里浜～落石岬、九番沢支線林道～落石駅、落石駅東側台地を調査した。7月1～4日の天候は曇りで一時的には薄日が射したが、5日昼前から6日は雨となり調査には不適であった。

(4) 2022年7月6-10日

厚床、別当賀駅～フレシマ・五本松川河口右岸、川口、酪陽、ノッカマップ岬を調査した。7月7日～9日午前中の天候は曇りで一時的には薄日が射したが、6日と9日午後以降は雨となり調査には不適であった。

(5) 2022年10月11-15日

別当賀駅～天狗岩川河口、花咲岬、春国岱で少数の昆虫を採集した。10月12日～14日午前中の天候は晴であったが、10日までの数日が暴風雨だったため、風がまだ強く太平洋側海岸の波も高かった。

(6) 2023年7月6-12日

落石駅付近、別当賀駅～天狗岩川河口～フレシマ川河口湿地の西隣湿地、昆布盛～落石循環林道、コタン川源頭部～川口、ヒキウス岬、歯舞～トーサムポロ川源頭部を調査した。歯舞湿原では根室市天然記念物の指

定範囲の北側隣接地で採集を行った。7月7～12日の天候は曇りで一時的には晴天となったが、6日は雨で調査には不適であった。

調査地点の位置を図-1に示した。

2. 方法

採集方法は、叩き網(以下「Bt」と略す)、樹木の花や草地の葉先のスーピング(以下「Sp」と略す)、蛹粉アルコールピットフォールトラップ(以下「PIT」と略す)等で、特別な採集法は実行していない。

結果

全ての調査地点を合わせて、18科77種の異翅亜目が確認された。種名の後に「※」を付した種は、「根室半島の昆虫」および中谷(2025)に記録されていない種である。今回記録する個体の採集地点は全て北海道根室市に属し、採集者は全て芳賀馨、同定者は全て山本亜生であるので、個々のデータにおいてはこれらを省略した。科および科内の種の配列は日本昆虫目録編集委員会編(2016)に従った。標本は全て小樽市総合博物館に収蔵されている。

データの配列は、次の規則によった。

- 1) 太平洋に流入する谷筋を先、根室湾に流入する谷筋の後(落石付近の狭窄部では、根室本線の軌道を分水嶺とみなす)。
- 2) 根室湾または太平洋に対し、より西で流入する谷筋を先、東で流入する谷筋の後。
- 3) 同じ谷筋内で、高標高地を先、低標高地の後。
- 4) 同じ採集地点については、採集年月日が古いものを先、新しいものを後。

採集された種の目録

1. Corixidae ミズムシ科

1. *Hesperocorixa distanti distanti* (Kirkaldy, 1899) ミズムシ1♂, 別当賀駅～ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(池の岸の水草のSp), 8.VII.2022; 2♂1♀+3幼生, 別当賀 五本松川河口左岸(海岸砂丘背後の沼岸の水草のSp), 27.VII.2013; 4♀, 別当賀 五本松川河口左岸(海岸砂丘背後の沼岸の水草のSp), 2.VII.2021
2. *Sigara (Tropocorixa) nigroventralis* (Matsumura, 1905) ハラグロコミズムシ 2♂3♀+1幼生, 別当賀 五本松川河口左岸(海岸砂丘背後の沼岸の水草のSp), 2.VII.2021

2. Gerridae アメンボ科

1. *Gerris (Gerris) babai* Miyamoto, 1958 ババアメンボ ※ 1♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名? 川河口湿地 E145°23'5" 付近(沼岸の水草のSp),

- 7.VII.2023; 1♀, 別当賀 五本松川河口左岸(海岸砂丘背後の沼岸の水草のSp), 2.VII.2021
2. *Limnopus genialis* (Miyamoto, 1958) セアカアメンボ1♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名? 川河口湿地 E145°23'5"付近(沼岸の水草のSp), 7.VII.2023
3. **Saldidae ミズギワカメムシ科**
1. *Salda kiritschenkoi* Cobben, 1985 オオミズギワカメムシ ※ 1♀+1ex.+4幼生, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(アシ等湿地のPIT), 7-9.VII.2022
2. *Salda littoralis* (Linnaeus, 1758) ヒラタミズギワカメムシ 1♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022
3. *Saldula kurentzovi* Vinokurov, 1979 ホシミズギワカメムシ ※ 1♂1♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023
4. *Saldula opacula* (Zetterstedt, 1838) シロヘリミズギワカメムシ ※ 1♀, ノッカマップ岬 灯台東側(小河川岸の湿地の草本のSp), 26.VII.2013
5. *Saldula recticollis* (Horváth, 1899) エゾミズギワカメムシ ※ 1♂, 齒舞湿原 29.6m三角点南東側(道路の南西側)(低丈ヌマガヤ地のPIT), 9-11.VII.2023
4. **Miridae カスミカメムシ科**
1. *Orthocephalus funestus* Jakovlev, 1881 クロマルカスミカメ 1♂, 別当賀駅~ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点~天狗岩川河口(湿地の草本のSp), 2.VII.2021; 6♂, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021; 1ex., 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 2♀, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 4♂2♀, 厚床 ニンタル支線川 源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♂2♀, 川口 コタン川 源頭部(ミズナラ・トドマツ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023; 1♂, 川口 コタン川 源頭部~別当賀川 河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023; 1♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023; 2♂1♀, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 8.VII.2023; 1♀, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023; 1♀, 温根元~納沙布岬(風衝草地のSp), 3.VII.2021
2. *Cyllecoris nakanishii* Miyamoto, 1969 ニレオオホソカスミカメ ※ 1♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023
3. *Pityopsallus nipponicus* (Vinokurov, 1998) トウヒトビカスミカメ ※ 1♂, 瀬臥牛林道・落石循環林道分岐点~落石駅(アカエゾマツ等自然林縁の針葉樹下枝のBt), 8.VII.2023
4. *Pityopsallus yasunagai* (Vinokurov, 1998) ケブカトビカスミカメ ※ 1♂, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023
5. *Psallus (Hylopsallus) tonnaichanus* Muramoto, 1973 カシワトビカスミカメ ※ 3♀, 厚床 ニンタル支線川 源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022
6. *Europiella artemisiae* (Becker, 1864) シラゲヨモギカスミカメ ※ 2♂1♀, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023
7. *Plagiognathus collaris* (Matsumura, 1911) クビワヨモギカスミカメ ※ 1♂1♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点~五本松川河口左岸(湿地の草本のSp), 27.VII.2013; 1♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023
8. *Bryocoris montanus* Kerzhner, 1972 フタガタシダカスミカメ ※ 1♂, 別当賀駅~東ホロニタイ川渡河点(ミズナラ等自然林内の下草のSp), 27.VII.2013; 1♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の下草のSp), 9.VII.2022; 1♀, 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021
9. *Cobalorhynchus nipponicus* (Zheng et Liu, 1992) オオクビワシダカスミカメ ※ 1♂, 別当賀駅~東ホロニタイ川渡河点(ミズナラ等自然林内の下草のSp), 27.VII.2013
10. *Monalocoris filicis* (Linnaeus, 1758) ズアカシダカスミカメ ※ 1♀, 落石岬灯台付近(アカエゾマツ自然林床湿地の草本のSp), 4.VII.2021; 2♀, 温根沼大橋上流左岸(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013; 1♀, 温根沼左岸 第一西6番沢北側 送電線渡河点(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013; 3♀, 齒舞 ハボマイ川河道 EL.10m(アシ等湿地の草本のSp), 12.VII.2023
11. *Erimiris tenuicornis* Miyamoto et Hasegawa, 1967 ヒゲナガササカスミカメ

- 1 ♀, 別当賀駅～東ホロニタイ川渡河点(ミズナラ等自然林内の下草のSp), 27.VII.2013; 1 ♂, 川口 コタン川源頭部～別当賀川河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023
12. *Adelphocoris demissus* Horváth, 1905 ウスモンカスミカメ ※
1 ♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点～五本松川河口左岸(湿地の草本のSp), 27.VII.2013
13. *Apolygopsis nigritula* (Linnavuori, 1961) クロバカスミカメ ※
5 ♂2 ♀, 川口 コタン川源頭部～別当賀川河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023; 1 ♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023; 1 ♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022
14. *Apolygus lucorum* (Meyer-Dür, 1843) コアオカスミカメ ※
1 ♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023
15. *Apolygus spinolae* (Meyer-Dür, 1841) ツマグロアオカスミカメ ※
1 ♂, 別当賀駅～ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1 ♂1 ♀, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 2 ♂3 ♀, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023
16. *Capsodes gothicus graeseri* (Reuter 1888) モンキカスミカメ ※
2 ♀, 齒舞湿原 29.6m三角点南東側(道路の南西側)(ヌマガヤ等湿地の草本のSp), 9.VII.2023; 1 ♂, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023
17. *Capsus pilifer* (Remane, 1950) カラフトカスミカメ
1 ♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 5 ♂, 別当賀 フレシマ川河口湿地(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 2 ♂, 別当賀駅～ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1 ♂, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点～天狗岩川河口(湿地の草本のSp), 2.VII.2021; 1 ex., 別当賀 五本松川河口右岸(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1 ♂, 落石駅東側海岸台地(トドマツ・ダケカンバ自然林縁の下草のSp), 6.VII.2021; 1 ♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 1 ♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の下草のSp), 9.VII.2022; 1 ♀, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 8.VII.2023; 1 ♂, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023
18. *Capsus wagneri* (Remane, 1950) キアシカラフトカスミカメ ※
4 ♂1 ♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 4 ♂, 別当賀 フレシマ川河口湿地(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 3 ♂, 別当賀駅～ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1 ♂, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021; 2 ♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 1 ♂1 ♀, 齒舞 ハボマイ川河道EL.10m(アシ等湿地の草本のSp), 12.VII.2023; 1 ♂3 ♀, 西落石林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021; 2 ♂1 ♀, 温根沼左岸 第一西6番沢北側送電線渡河点(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013
19. *Cyphodemidea saundersi* (Reuter, 1896) マダラカスミカメ ※
1 ♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 1 ♀, 別当賀 五本松川河口右岸海岸(湿地の草本のSp), 7.VII.2023; 1 ♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点～天狗岩川河口(湿地の草本のSp), 2.VII.2021; 1 ♀, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021; 2 ♀+1 ex., 落石駅東側海岸台地(トドマツ・ダケカンバ自然林縁の下草のSp), 6.VII.2021; 3 ♀, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1 ♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の下草のSp), 9.VII.2022; 1 ♀, 落石循環林道(択伐後のエゾマツ・トドマツ林縁の下枝Bt), 8.VII.2023; 3 ♀, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 8.VII.2023
20. *Eurystylus coelestialium* (Kirkaldy, 1902) メンガタカスミカメ ※
1 ♂, 川口 コタン川源頭部～別当賀川河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023; 2 ♂4 ♀, 川口 コタン川源頭部～別当賀川河口左岸(混交自然林縁のシモツケ類花上), 10.VII.2023; 1 ♂+1 ex., 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023
21. *Lygocoris pabulinoides* (Linnavuori, 1961) ツヤミドリカスミカメ ※
1 ♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の下草のSp), 9.VII.2022
22. *Mermitelocerus prasinus* (Reuter, 1908) シマアオカスミカメ
2 ♂, 別当賀駅～ホロニタイEL.75-30m(ホロニタイ川と五本松川の間)の尾根(ミズナラ等自然林内の林道(市道)沿いのセリ科花上), 8.VII.2022; 1 ♂, 厚床 ニ

- ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♀, 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021; 1♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022
23. *Neolygus honshuensis* (Linnavuori, 1961) フタモンウスカスミカメ ※
4♂6♀, 落石駅南側(混交自然林縁の下草のSp), 6.VII.2023; 1♂4♀+1ex., 酪陽 道の駅スワン西側(トドマツ・ダケカンバ自然林内のゴトウヅル花上), 9.VII.2022; 1♂8♀, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁のゴトウヅル花上), 8.VII.2023
24. *Neolygus tiliicola* (Kulik, 1965) コモンミドリカスミカメ ※
1♂, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022
25. *Orthops sutellatus* Uler, 1877 モンキマキバカスミカメ ※
2♀, 別当賀駅~ホロニタイEL.75-30m(ホロニタイ川と五本松川の間尾根)(ミズナラ等自然林内の林道(市道)沿いのセリ科花上), 8.VII.2022
26. *Philostephanus rubripes* (Jakovlev, 1876) アシアカクロカスミカメ ※
1♂, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♂, 川口 コタン川源頭部(ミズナラ・トドマツ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023; 1♂, 川口 コタン川源頭部~別当賀川河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023; 1♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023
27. *Stenotus binotatus* (Fabricius, 1794) フタスジカスミカメ ※
1♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023
28. *Stenotus hasegawai* Yasunaga, Akagi et Nagashima, 2017 キタアカスジカスミカメ ※
1ex., 川口 コタン川源頭部~別当賀川河口左岸(混交自然林縁のBt), 10.VII.2023
29. *Stenodema (Brachystira) calcarata* (Fallén, 1807) フタトゲムギカスミカメ
1♂, 別当賀 五本松川河口右岸(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1♂, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021
「根室半島の昆虫」では和名「ムギメクラガメ」として記録された。
30. *Trigonotylus caelestialium* (Kirkaldy, 1902) イネホソミドリカスミカメ ※
1♂, 別当賀 フレシマ川河口湿地 (スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 1♂, 落石駅北約300m(アカエゾマツ自然

林内のヌマガヤ等湿地の草本のSp), 8.VII.2023

5. Anthocoridae ハナカメムシ科

1. *Bilia esakii* Carayon et Miyamoto, 1960 キタダルマハナカメムシ
1♀, 別当賀駅~東ホロニタイ川渡河点(ミズナラ等自然林内の下草のSp), 27.VII.2013; 1♀, 落石岬灯台付近(アカエゾマツ自然林床湿地の草本のSp), 4.VII.2021; 1♀, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 1♂, 落石駅北約300m(アカエゾマツ自然林内のヌマガヤ等湿地の草本のSp), 8.VII.2023; 3♀, 齒舞湿原 トーサムボロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023
「根室半島の昆虫」では和名「ダルマハナカメムシ」として記録された。
2. *Orius (Heterorius) minutus* (Linnaeus, 1758) コヒメハナカメムシ ※
1♀, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021; 2♀, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 2♀, 温根元~納沙布岬(風衝草地のSp), 3.VII.2021
3. *Orius (Heterorius) nagaii* Yasunaga, 1993 ツヤヒメハナカメムシ ※
1♂2♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23' 5" 付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023
4. *Orius (Heterorius) sauteri* (Poppius, 1909) ナミヒメハナカメムシ ※
1♀, 齒舞 ハボマイ川河道EL.10m (アシ等湿地の草本のSp), 12.VII.2023
5. *Amphiareus obscuriceps* (Poppius, 1909) ヤサハナカメムシ ※
1♀, 西落石林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021; 2♀+1ex., 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021; 1♀, 温根沼大橋~瀬臥牛林道・9番沢第二支線林道十字路(エゾマツ・トドマツ等自然林縁のBt), 28.VII.2013; 1♀, 落石循環林道(択伐後のエゾマツ・トドマツ林縁の下枝のBt), 8.VII.2023; 7♂8♀+1ex., 瀬臥牛林道・落石循環林道分岐点~落石駅(アカエゾマツ等自然林縁の針葉樹の下枝Bt), 8.VII.2023
- ## 6. Tingidae グンバイムシ科
1. *Acalypta gracilis* (Fieber, 1844) ムロマルグンバイ ※
1♀, 落石浜松港~窓岩(砂浜背後の草地のSp), 29.VII.2013
2. *Agramma japonicum* (Drake, 1948) エゾナガグンバイ
1♀, 落石駅北約300m(アカエゾマツ自然林内のヌマガヤ等湿地の草本のSp), 8.VII.2023; 1♀, 別当賀 東

ホロニタイ川渡河点～五本松川河口左岸(湿地の草本のSp), 27.VII.2013; 1♀, 落石岬灯台付近(アカエゾマツ自然林床湿地の草本のSp), 4.VII.2021

中谷 (2025) では「ズグロナガゲンバイ *Agramma nexile* (Drake, 1948)」として記録された。

3. *Corythucha marmorata* (Uhler, 1878) アワダチソウゲンバイ ※

2♀, 別当賀駅～ホロニタイEL.75-30m(ホロニタイ川と五本松川の間尾根)(ミズナラ等自然林内の林道(市道)沿いの下枝のBt), 8.VII.2022; 1♂1♀, 歯舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023

7. Nabidae マキバサシガメ科

1. *Nabis (Nabicula) flavomarginatus* Scholtz, 1847 キベリマキバサシガメ ※

1♀, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 8.VII.2023

8. Aradidae ヒラタカメムシ科

1. *Aneurus (Neaneurus) macrotylus* Jakovlev, 1880 ヒメヒラタカメムシ ※

1♀, 別当賀駅～東ホロニタイ川渡河点(ミズナラ等自然林内の枯木のBt), 27.VII.2013; 1♀, 落石岬 無線電信局遺跡付近(キノコの生じたハンノキ?枯木のBt), 4.VII.2021; 1♀, 落石駅東側海岸台地(トドマツ・ダケカンバ自然林縁の枯木のBt), 6.VII.2021; 1♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の枯木のBt), 10.VII.2023; 1♀, 酪陽 道の駅スワン西側(トドマツ・ダケカンバ自然林内の枯木のBt), 9.VII.2022; 2♀, 瀬臥牛林道・落石循環林道分岐点～落石駅(アカエゾマツ等自然林縁の枯木のBt), 8.VII.2023; 1♀, 落石循環林道(択伐後のエゾマツ・トドマツ林縁の枯木のBt), 8.VII.2023; 1♀, 昆布盛駅西側(トドマツ立枯木のBt), 8.VII.2023

2. *Paraneurus galiae* (Kerzhner, 1979) カクムネヒメヒラタカメムシ ※

5♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の枯木のBt), 9.VII.2022; 1♂2♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の枯木のBt), 10.VII.2023; 1♀, 西落石林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の枯木のBt), 5.VII.2021

3. *Aradus consentaneus* Horváth, 1905 ヒラタカメムシ ※

2♀, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林内の枯木のBt), 6.VII.2022

9. Heterogasteridae クロマダラナガカメムシ科

1. *Heterogaster urticae* (Fabricius, 1775) クロマダラナガ

カメムシ ※

1♂, 川口 コタン川源頭部(ミズナラ・トドマツ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023

10. Pachygronthidae ヒゲナガカメムシ科

1. *Pachygrontha antennata* (Uhler, 1860) ヒゲナガカメムシ ※

1♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022; 1♀, 落石駅北約300m(アカエゾマツ自然林内のヌマガヤ等湿地の草本のSp), 8.VII.2023

11. Rhyarochromidae ヒョウタンナガカメムシ科

1. *Eremocoris plebejus* (Fallén, 1807) オオムラクモナガカメムシ ※

1♀, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021

2. *Lamproplax unispina* Kerzhner, 1977 チビツヤナガカメムシ ※

1ex., 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林床のPIT), 7-9.VII.2022

3. *Scolopostethus thomsoni* Reuter, 1875 コカスリナガカメムシ ※

1♂2♀, 別当賀 五本松川河口右岸海岸(湿地の草本のSp), 7.VII.2023; 1♀, 落石駅南側(混交自然林縁の下草のSp), 6.VII.2023; 1♀, 落石駅西側(アカエゾマツ自然林内のスゲ類・ミズゴケ湿地の草本のSp), 21.VII.2012

4. *Trichodymus major* Tomokuni, 1994 オオケブカナガカメムシ ※

1♂, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023

5. *Horridipamera lateralis* (Scott, 1874) キベリヒョウタンナガカメムシ ※

1♂, 別当賀 五本松川河口右岸(湿地の草本のSp), 8.VII.2022

6. *Pachybrachius luridus* Hahn, 1826 ヒラタヒョウタンナガカメムシ ※

1♂, 落石駅東側海岸台地(トドマツ・ダケカンバ自然林縁の下草のSp), 6.VII.2021; 1♀, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 1♂1♀, 友知 オンネ沼東隣湿地(スゲ類湿地のPIT), 1-3.VII.2021; 1♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022; 1♀, 温根沼大橋上流左岸(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013

7. *Stigmatonotum rufipes* (Motschulsky, 1866) チビナガカメムシ ※

1♀, 川口 別当賀川河口左岸(ハルニレ等自然林内の下草のSp), 9.VII.2022

12. Lygaeidae マダラナガカメムシ科

1. *Kleidocerys resedae* (Panzer, 1797) ウスイロヒラタナガカメムシ ※
1♂, 落石駅南側(混交自然林縁の下草のSp), 6.VII.2023; 1♀, 川口 コタン川源頭部(ミズナラ・トドマツ等自然林縁の草本のSp), 10.VII.2023; 1♂, 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021

13. Cymidae ヒメヒラタナガカメムシ科

1. *Cymus aurescens* Distant, 1883 ヒメヒラタナガカメムシ ※
1♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 1♂2♀, 別当賀駅~ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 3♂, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点~五本松川河口左岸(湿地の草本のSp), 27.VII.2013; 1♂1♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点~天狗岩川河口(湿地の草本のSp), 2.VII.2021; 1♂, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 22♂18♀, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 1♀, 齒舞 ハボマイ川河道EL.10m(アシ等湿地の草本のSp), 12.VII.2023; 3♂4♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022; 1♂, 温根沼左岸 第一西6番沢北側 送電線渡河点(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013; 1♀, 温根沼大橋上流左岸(塩沼湿地の草本のSp), 28.VII.2013; 1♂, ノッカマップ岬(海岸台地上の風衝草地のSp), 26.VII.2013; 1♀, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023; 1♂, 温根元~納沙布岬(風衝草地のSp), 3.VII.2021

14. Berytidae イトカメムシ科

1. *Metatropis rufescens* (Herrich-Schaeffer, 1835) オオイトカメムシ
1♂, 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021

15. Alydidae ホソヘリカメムシ科

1. *Paraplesius unicolor* Scott, 1874 ヒメクモヘリカメムシ ※
1♂, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023

16. Rhopalidae ヒメヘリカメムシ科

1. *Rhopalus* (Aeschyntelus) *maculatus* (Fieber, 1837) アカヒメヘリカメムシ ※
1♂, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022

17. Pentatomidae カメムシ科

1. *Dolycoris baccarum* (Linnaeus, 1758) ブチヒゲカメムシ
2♂1♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地の西隣の無名?川河口湿地 E145°23'5"付近(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 1♂, 別当賀駅~ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1♀, 別当賀 五本松川河口右岸(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 1♀, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 3♂, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023
2. *Palomena angulosa* (Motschulsky, 1861) エゾアオカメムシ
1♀, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♀, 川口 コタン川源頭部(ミズナラ・トドマツ等自然林縁のBt), 10.VII.2023; 1♂1♀, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁の下枝のBt), 7.VII.2022; 1♂1♀, 温根沼左岸 第一西6番沢北側 送電線渡河点(混交自然林伐開林縁のBt), 28.VII.2013; 1♂, 齒舞湿原 トーサムポロ川源頭部(矮生カシワ林縁の下草のSp), 9.VII.2023
3. *Carbula abbreviata* (Motschulsky, 1866) トゲカメムシ ※
2♂, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♂1♀, 瀬臥牛林道・9番沢第二支線林道十字路~落石駅(エゾマツ・トドマツ等自然林縁のBt), 28.VII.2013
4. *Eysarcoris lewisi* (Distant, 1883) オオトゲシラホシカメムシ
3♀, 別当賀 フレシマ川河口湿地(スゲ類等のSp), 7.VII.2023; 1♂1♀, 別当賀駅~ホロニタイ(EL.30m標高点直下の湿地)(湿地の草本のSp), 8.VII.2022; 2♀, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点~天狗岩川河口(湿地の草本のSp), 2.VII.2021; 1♀, 落石外浜(風衝草地のSp), 4.VII.2021; 1♀, 落石駅東側海岸台地(トドマツ・ダケカンバ自然林縁の下草のSp), 6.VII.2021; 1♂3♀, 友知 オンネ沼南側海岸(砂草地のSp), 1.VII.2021; 2♀, ヒキウス岬(風衝草地のSp), 11.VII.2023; 1♀, 齒舞 ハボマイ川河道EL.10m(アシ等湿地の草本のSp), 12.VII.2023; 1♀, 厚床駅南側(牧草地~カシワ二次林縁の下草のSp), 21.VII.2012; 3♀, 厚床 ニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♀, 西落石林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁の下草のSp), 5.VII.2021; 1♂, 酪陽 第二トウバイ川河口左岸(ハルニレ等自然林縁のアシ湿地のSp), 7.VII.2022; 1♀, ノッカマップ岬(海岸台地上の風衝草地のSp), 26.VII.2013; 1♀, 温根元~納沙

布岬(風衝草地のSp), 3.VII.2021

18. Acanthosomatidae ツノカメムシ科

1. *Acanthosoma denticaudum* Jakovlev, 1880 セアカツノカメムシ ※

1♂, 花咲岬灯台～車石(風衝草地内の遊歩道上の死体), 13.X.2022

2. *Acanthosoma expansum* Horváth, 1905 エゾツノカメムシ ※

1♀, 厚床 ニニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 1♂, 落石駅南側(混交自然林内下枝のBt), 6.VII.2023

3. *Acanthosoma spinicolle* Jakovlev, 1880 ミヤマツノカメムシ ※

2♂1♀, 花咲岬灯台(晴天時建物のコンクリート壁に来集), 13.X.2022; 1♂, 厚床駅南側(路上圧死体), 21.VII.2012

4. *Elasmotethus humeralis* Jakovlev, 1883 ベニモンツノカメムシ

3♂2♀, 別当賀駅～ホロニタイEL.75-30m(ホロニタイ川と五本松川の間尾根)(ミズナラ等自然林内の林道(市道)沿いのセリ科花上), 8.VII.2022; 1♂, 落石浜松港～窓岩(砂浜背後の草地のSp), 29.VII.2013; 1♂, 花咲岬灯台(晴天時建物のコンクリート壁に来集), 13.X.2022; 3♂, 川口 コタン川源頭部～別当賀川河口左岸(混交自然林縁のシモツケ類花上), 10.VII.2023; 1♂5♀, 昆布盛駅～落石駅(トドマツ等自然林縁のセリ科花上), 26.VII.2013; 3♂, 9番沢支線林道(エゾマツ・トドマツ自然林縁のセリ科花上), 5.VII.2021; 1♂, ノッカマップ岬(海岸台地上のシモツケ類花上), 26.VII.2013

5. *Elasmotethus interstinctus* (Linnaeus, 1758) セグロベニモンツノカメムシ

1♂, 別当賀 東ホロニタイ川渡河点～天狗岩川河口(風衝草地の草本上), 12.X.2022

6. *Elasmucha amurensis* Kerzhner, 1972 クロヒメツノカメムシ ※

2♂1♀, 落石岬 通信所遺跡付近(アカエゾマツ自然林縁の下枝のBt), 4.VII.2021; 1♂, 昆布盛駅西側(エゾマツ・トドマツ自然林縁のゴトウヅル花上), 8.VII.2023

7. *Elasmucha dorsalis* (Jakovlev, 1876) アカヒメツノカメムシ ※

3♂, 厚床 ニニンタル支線川源頭標津線跡地(ミズナラ等二次林縁の下枝のBtまたは下草のSp), 6.VII.2022; 2♂, 温根沼大橋左岸～瀬臥牛林道・九番沢第2支線林道十字路(エゾマツ・トドマツ等自然林

縁のシモツケ類花上), 28.VII.2013

8. *Elasmucha fieberi* (Jakovlev, 1865) キタヒメツノカメムシ ※

1♂, 落石循環林道(択伐後のエゾマツ・トドマツ林縁の下枝のBt), 8.VII.2023

考察

前述のとおり、今回の調査では18科77種の異翅亜目が確認された。そのうち60種は「根室半島の昆虫」および中谷(2025)に記録されていない種である。両文献による既記録種数を加えて科別に種数を集計すると、24科101種となる(表2)。このように記録種数が大幅に増加したことは、根室半島の昆虫相の解明のために意義が大きいといえるであろう。

注目すべき種としては以下の3種が挙げられる。前の2種は、前述したような厳しい気候を反映した北方系の遺存種と考えることができる。後の1種は、道東の中核都市の一つであり他地域との間で物流が盛んな根室市の社会的特性を反映していると考えられる。

1) キタアカスジカスミカメ *Stenotus hasegawai* Yasunaga, Akagi et Nagashima, 2017【写真1】

本種はアカスジカスミカメ *Stenotus rubrovittatus* (Matsumura, 1913)に酷似した北方系の近縁種であり、近年、群馬県尾瀬ヶ原をタイプ産地として新種記載された(Yasunaga et al., 2017)。パラタイプとして国後島と暑寒別岳産の標本が示されており、また最近の調査では厚岸町・浜中町で多数の個体が採集されている(山本ほか, 2025)。

2) ムロマルゲンバイ *Acalypta gracilis* (Fieber, 1844)【写真2】

本種は旧北区に広く分布する種であり、国内では国後島、日勝峠、および層雲峡からの記録がある(Souma, 2020; 相馬, 2023)。

3) アワダチソウゲンバイ *Corythucha marmorata* (Uhler, 1878)【写真3】

本種は2000年代初頭に北米から日本に侵入した外来種であり、北海道からは千歳市と札幌市における発生が最近報告されている(相馬ほか, 2025)。道東地域からの記録は今回が初めてとなる。

根室市においても気候の温暖化は進行しており、2023年8月には史上初の熱中症警戒アラートが発令された。近年市内で増加している大規模太陽光・風力発電所の建設は、既存の自然環境の改変だけでなく、大量の資材の搬入に伴う意図せざる外来種の運搬の要因となって、昆虫相に影響を及ぼしているかもしれない。根室半島の本来の自然環境のより深い理解と、その人為による改変のモニタリングの両面から、異翅亜目を含めた昆虫相のさらなる調査が必要であろう。

表2 根室半島から記録された異翅亜目の種数

科名	記録種数			合計
	文献記録(*)	今回報告記録種数	新記録	
Corixidae ミズムシ科	2	2	0	2
Notonectidae マツモムシ科	1	0	0	1
Mesovelidae ミズカメムシ科	1	0	0	1
Gerridae アメンボ科	2	2	1	3
Saldidae ミズギワカメムシ科	5	5	4	9
Miridae カスミカメムシ科	12	30	25	37
Anthocoridae ハナカメムシ科	1	5	4	5
Tingidae グンバイムシ科	1	3	2	3
Nabidae マキバサガメ科	2	1	1	3
Reduviidae サンガメ科	1	0	0	1
Aradidae ヒラタカメムシ科	0	3	3	3
Heterogasteridae クロマダラナガカメムシ科	0	1	1	1
Pachygronthidae ヒゲナガカメムシ科	0	1	1	1
Rhyparochromidae ヒョウタンナガカメムシ科	0	7	7	7
Geocoridae オオメナガカメムシ科	1	0	0	1
Lygaeidae マダラナガカメムシ科	1	1	1	2
Cymidae ヒメヒラタナガカメムシ科	0	1	1	1
Berytidae イトカメムシ科	1	1	0	1
Alydidae ホソヘリカメムシ科	0	1	1	1
Rhopalidae ヒメヘリカメムシ科	1	1	1	2
Coreidae ヘリカメムシ科	1	0	0	1
Plataspidae マルカメムシ科	1	0	0	1
Pentatomidae カメムシ科	4	4	1	5
Acanthosomatidae ツノカメムシ科	3	8	6	9
合計	41	77	60	101

*: 中谷・生方編(1999)「根室半島の昆虫」および中谷(2025)

謝辞

馬場晶一氏(根室市)には、私有地内での調査に多大の便宜を図っていただいた。中谷正彦氏(釧路市)には参考文献を恵与していただいた。2021-22年の調査期間は、新型コロナウイルス感染症問題によって人の交流が困難化した時期であったが、根室市の皆様は芳賀の訪問を大変親切に受入れてくださった。お世話になった皆様に心からお礼を申しあげる。

故伊藤勝彦氏(芽室町)は、「根室半島の昆虫」のための調査に中心メンバーの一人として参加され、芳賀に根室半島の昆虫相の魅力を伝えて同地域を訪れる動機を作ってくれたが、2023年に亡くなられた。芳賀の執筆の遅れから生前に本報告をお目にかけることができなかつたことをおわび申しあげるとともに、心から冥福をお祈り申しあげる。

引用文献

伊藤浩司・近藤憲久. 1988a. 現存植生図. 根室南部. 環境庁.
 伊藤浩司・近藤憲久. 1988b. 現存植生図. 厚床. 環境庁.
 伊藤浩司・近藤憲久・小林秀雄. 1987. 現存植生図. 根室北部・納沙布. 環境庁,
 気象庁. 2025. "過去の気象データ検索". 各種データ・資

料. 気象庁. (オンライン), <<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>> (2025年2月24日参照).
 中谷正彦. 2025. 「根室半島の昆虫」発刊後に記録された昆虫類. 道東の昆虫と自然, (11): 76-91.
 中谷正彦・生方秀紀(編). 1999. 根室半島の昆虫. SYLVICOLA別冊III. 釧路昆虫同好会, 釧路.
 日本昆虫目録編集委員会(編). 2016. 日本昆虫目録第4巻. 準新翅類. 日本昆虫学会・権歌書房, 福岡.
 Souma, J.. 2020. First record of the lace bug species *Acalypta gracilis* (Fieber, 1844) (Heteroptera: Tingidae) from Japan proper. *Rostria*, (65): 66-70.
 相馬純. 2023. グンバイムシ科15属31種の和名と学名の整理. *Rostria*, (68): 1-19.
 相馬純・森本然・重藤裕彬. 2025. アワダチソウグンバイの北海道における初記録ならびに分布状況. *Rostria*, (70): 74-77.
 山本亜生・奥寺馨・木野田君公・近藤直人. 2025. 北海道におけるカスミカメムシ科16種の分布記録. *Rostria*, (70): 130-140.
 Yasunaga, T., Akagi, S. & Nagashima, S.. 2018. Taxonomic review of the mirine plant bug genus *Stenotus* Jakovlev in Japan and adjacent regions in Asia (Hemiptera: Heteroptera: Miridae: Mirinae). *Insect Systematics & Evolution*, 49 (5): 481-519.

根室半島で採集された異翅亜目



【写真1】キタアカスジカスミカメ
Stenotus hasegawai Yasunaga, Akagi
et Nagashima



【写真2】ムロマルゲンバイ
Acalypta gracilis (Fieber, 1844)



【写真3】アワダチソウゲンバイ
Corythucha marmorata (Uhler, 1878)



【写真4】高層湿原(歯舞湿原 2023
年7月9日)



【写真5】低層湿原(第二トウバイ川
河口左岸 2022年7月7日)



【写真6】塩沼湿地(温根沼左岸
2013年7月28日)



【写真7】海岸砂丘後背の沼(五本松
川河口左岸 2013年7月27日)



【写真8】風衝草地(五本松川-フレ
シマ川間海岸 2023年7月7日)



【写真9】海岸砂草地(五本松川河口
左岸 2013年7月27日)



【写真10】アカエゾマツ自然林(落石
駅西側 2012年7月21日)



【写真11】広葉樹自然林(川口 2023
年7月10日)



【写真12】混交自然林(瀬臥牛林道
2013年7月28日)